

平成29年度第2回姉妹都市・友好都市交流協会設立準備会（平成29年11月9日開催）

（仮称）稲城市姉妹都市・友好都市交流協会（以下「交流協会」という。）の事業内容・組織体制・運営方法について、委員長・副委員長・事務局にて作成した「たたき台」を基に、意見交換を行った。

## 1. 事業内容・組織体制・運営方法について

交流協会のイメージを共有するために委員長・副委員長・事務局で作成した「たたき台」を提示し、その「たたき台」を元に事業内容・組織体制・運営方法等について意見交換を行った。

（主な意見）

### ■事業内容について

- ・国内交流事業については既存事業がしっかりあり、地域国際化の事業については、稲城国際交流の会の皆様が長くやってこられた事業が色々あるので、決めなければいけないのは海外交流事業の内容だと思う。
- ・国内交流、海外交流、地域国際化の3つの分野を1つの協会で実施することにより、各分野がコラボレーションした事業の実施など、何か相乗効果が発揮できると良いと思う。
- ・地域国際化事業については、日本語講座の研修講師を、例えば、費用をかけて呼んだり、または、ボランティアをお願いして費用をかけずに実施するなど、色々なことができると思う。

## ■組織体制について

- ・賛助会員が多くなれば、自分の意思の表現の場としての総会が必要かもしれない。
- ・会員の募集については大変苦勞すると思うので、最初はある程度の小さい規模で産んでスタートするしか出来ないと思う。
- ・会員数を想定していた方が良いと思う。商工会等に何人・何社くらい会員になりそうかアンケートを取ってみてはどうか。
- ・会員数については、100人や150人など、仮定の目標を持って取り組むのが良い。
- ・事務局に1人分の業務量には当分の間はならないと思うので、市職員が担当するのが実質的であると思う。

## ■運営方法について

- ・事業費については、会費で実施するのか、市から補助を得られるのかが知りたい。
- ・事務局が市役所内部なのか、外部なのかは未定だが、最初は家賃を払って借りるまでにはならないと思う。

## ■その他について

- ・実際に設立されている他市の交流協会があるので、会員の規模、予算、事業内容、運営方法等について調べるのが良いと思う。
- ・組織体制等の各論に入る前に、交流協会の「名称」、「目的・趣旨」について決める必要があると思う。（「交流会」、「稲城姉妹交流協会」とのご提案あり）

### **【結論】**

次回の会議では、委員長・副委員長・事務局から「組織名称」の候補(5～6個)、「組織の趣旨・目的」の素案及び「たたき台」を一步具体的にしたものを持示し、検討を進めていくこととした。